



郡山市富田町の借り上げ住宅にお住まいの小笠原慶子先生におだがいさまセンターでお会いしました。富岡では西原にお住まい、富岡第二小学校に12年間(数回赴任しています)お勤めでしたので「先生」と呼ぶ町民は確かにいるのではないでしょうか。野球が大好きで特に巨人の熱狂的なファン。東京在住の二人の息子さんのお宅から野球観戦に通うこともしばしばあるそうです。今回の震災の日も東京にいらしたそうですが、以前より健康のために勧めていたウォーキングのおかげで帰宅困難になつても都内を迷うことなく目的地にまで行けたそうです。郡山にお住まいになってからも、ウォーキングは週に3~4回は行つていて、歩きながらお店を見つけてはお茶したり、お気に入りの店をみつけて楽しんでいます。入院中の母を見舞いながら、時間を見つけて刺繍などの手芸も楽しんでいます。

富岡の子ども達に一言とお願いしたところ、「困難に負けないで自分の夢に近づくように頑張って欲しい」とのこと。また、町民の皆さんには「富岡の方とは、どんなに離れていても、再会したときは、その離れていた時間を感じさせないほどの関係を築いてきたと信じています。いつの日か必ず再会し話をしましょう。」と笑顔で話されました。

おらほの自治会長

このコーナーでは、仮設・借り上げの自治会長さんのお話をご紹介します。

緑ヶ丘応急仮設住宅自治会長 北崎 一六さん



明るい笑顔で誰にでも気さくに話しかけ、驚く程の行動力で折々のイベントを企画実行し、仮設での生活を活性化しているパワフルな自治会長です。

富岡にいた頃は、交通安全協会の理事として、花見や花火大会などのイベント開催時や通勤通学時に交通整理のボランティアをしていた北崎さんが、「満開の時期と合わなくて、寒い思いしながら交通整理していた時もあつたな」と懐かしそうに当時の思い出を語ってくれました。

震災後の避難生活が続く中でも、緑ヶ丘仮設に住む方達を家族同様に考え、暮らしの安全を第一に考えています。住民の不利になるようなことには、行政に対してでも毅然と意見をいう強さの反面、地元の町内会や自治会の役員などに「皆さんのおかげで私は楽をさせてもらっています。」と謙虚な姿勢で感謝の気持ちを持続けています。

みんなの広場

このコーナーでは、町民のみなさんの詩、俳句、短歌、写真、手作り品などの作品を紹介します！



いわき文化センターで行われた「クリスマスアレンジメント作り」に参加してきた猪狩さん。この日の教室には50名の参加者がおり一人2個のアレンジメントを講師の指導の下、2時間かけて作られたそうです。一個は自分の分、もう一個は主催者が預かりいわき市内にある相双地区の仮設に贈るそうです。「来年は作り方を覚えてきたので皆さんと一緒に作りたいな」と話していました。

富岡町生活復興支援おだがいさまセンター



(社会福祉法人富岡町社会福祉協議会内) 場所 福島県郡山市富田町若宮前32(富田仮設住宅内)

電話 024-935-3332 FAX 024-935-3334

ブログ http://odagaisama.com/ ツイッター http://twitter.com/odagaisama

12月下旬
1月上旬 いってやっぺみでやっぺ
お知らせコーナー

フラダンス教室

日 時 1月7日(月) 13:00より
以後、毎週月曜日同じ時間で開催!!

おだがいさまセンター

無料

おだがいさまセンター

*皆さんのご参加お待ちしています。

一貫張り講座(県生涯学習講座)

日 時 1月20日(日) 10:00より
おだがいさまセンター

無料

先着20名(おだがいさまセンターへ)

*皆さん是非ご参加下さい。

喫茶つづ

おだがいさまセンター

日 時 12月27日、29日
1月5日、10日、12日、17日、19日
(毎回午前10時~12時)

南一丁目応急仮設集会所(富岡側)

日 時 1月7日、8日、12日、14日、15日、19日
(毎回午前10時~午後1時)

「富岡町復興応援ソング」をつくろう!

あの日から帰れない故郷富岡…あなたの「富岡町」をことばにしてみませんか。富岡町の自慢、思い出、あなたが持っている富岡への気持ちを、文でも詩でも短いことばでもなんでもいいので紙に書いて送ってください。

ラジオ福島さんと山佐株式会社さんの応援をいただいて、皆さんの思いを一つの歌にします。作曲は村井敏郎さん、作詞と歌は普天間かおりさんが引き受けくださいました。富岡町にまつわる歌は、「富岡漁港」や「望郷桜」がありますが、また一つ皆さんの故郷富岡への想いを込めた歌が生まれることになります。

なお、公式の場で歌われる「富岡町民歌」とは、全く別の種類の歌であることをご理解いただきたいと思います。

【応募方法】応募箱が設置されている場所もありますが、おだがいさまセンターか、ラジオ福島にて受け付けてあります。受付締切は、12月31日(月)までです。

メール song@rfc.jp FAX 024-535-3460

みてやっぺ!

ASEANキズナ強化プロジェクト



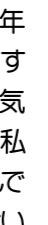
参加した町民を囲んで学生さんと絆の一枚



様々な国の人との交流



真剣に聞き入る学生さん達



したが、南国から福島に来て、生まれて初めて雪を見て感激したことや本来オーストラリアにしか住んでいないダチョウが富岡町を徘徊していた話に驚かれるなど、言葉や国境を越えた楽しい交流の時間を過ごすことが出来ました。

参加者の中で最高齢90歳の北崎進一さんは学生から「かわいい」と言われ記念写真をせがまれ数十人の学生と写真を撮り、すっかりアイドルとなりました。

目指せ!!「1000人フラ100人ウクレレ!!」

このイベントは、アースデイ湘南で、2013年4月27日(土)「1000人でフラダンスを踊り、100人でウクレレを演奏する」というイベントを企画しています。

「世界中の子ども達」を歌い、アースデイ湘南の実行委員長である琢磨さんご夫妻が11月28日(木)センターにフラダンスを教えに来てくれました。

アースデイ湘南の皆さん、昨年9月、ビッグパレットふくしまにメッセージカードを届けてくださいたのが縁でその後もいろいろなご支援をいただき、3月には、富岡町の家族を神奈川県湘南にご招待いただき「WALOHA海の大運動会」に参加させていただきました。

はじめに、ハーフムーン(琢磨さんご夫妻)のコンサートが行われ、その後、フラの指導が始まりました。同じ会場で活動していた編み物の会の皆さんもやさしいメロディーに思わず一緒に参加して「フラの輪」が広がりました。夕方からは「おだがいさま子ども教室」に参加した子どもたちも教えていただきました。はじめは、恥ずかしがっていた、子ども達も、終わるころには上手に踊れるようになっていました。今後も、いろいろな場で練習していき、「1000人フラ100人ウクレレ」をみんなで実現しましょう。



みんなでフラの輪を広げよう!



編み物の会の皆さんも音楽に誘われて参加♪



ささやかに子ども達は覚えが早いぞ

いわき四倉交流サロンオープン!!

12月1日(土)に「いわき四倉交流サロン」がオープンしました。先日開所した「いわき平交流サロン」に続きいわき地区に2ヶ所目となる交流サロンです。

当日は、遠藤町長をはじめ宮本町議会議長、いわき市社会福祉協議会強口会長、坂本富岡町区長会長、いわき地区の「さくらの会」面川会長、「すみれ会」田中会長、そして多数の町会議員の皆様が出席され、これから的生活復興支援に対し、サロンができたことの喜びと、大いに役立てて欲しいとの期待が募りました。

開所式の後には、内覧会が行われ、そこでは、寒い中来て頂いた皆さんに東本願寺の復興支援チームの方々からおしごと配られ、ホッヒー息つきながらの団らんに、話にも弾みがつきました。また、同日カラフルで色々なかたちをしたビーズを使っての念珠作りも行われ、訪れた住民だけでなく、開所式に出席された方も加わり、みな思い思いの作品を作つて行かれました。これからも町民の皆さんの交流の場や趣味の集まりの場として、様々な催事を企画しておりますので、ぜひみなさんご活用下さい。





内覧会での念珠づくり



いわき四倉交流サロン
富岡町生活復興支援センター
いわき四倉交流サロン
TEL: 0979-0201
いわき市四倉町字東2丁目115
TEL: 0246-38-4355 (FAX兼用)

四倉交流サロンでキムチ作り教室



トントンと包丁の音がリズムよく笑声と共に響いています。12月7日(金)に「いわき四倉交流サロン」で「本格キムチ作り教室」が開催されました。郡山から在日大韓基督協会郡山協会の方々をお迎えしてのキムチ作りには、13名が参加しテキバキと協力し合いながら作っていました。終始楽しい雰囲気で「本格的なキムチが簡単に作れてピックリ! 参加して良かった」という声もありました。

FM便り ★ 年末年始の放送について ★

【通常番組】

12月31日(月)～1月4日(金)は朝のおだがいさまやかモーニング、夜のおだがいさまラジオランドはお休みさせていただきます。

メッセージ等受付中! 郵便 [〒963-8041 郡山市富田町字若宮前32「おだがいさまFM」宛](#)
FAX 024-935-3334 メール下記「おだがいさまFM」HP内のメールフォームより送ってください
「おだがいさまFM」HPアドレス <http://odfm.net/>

特別番組

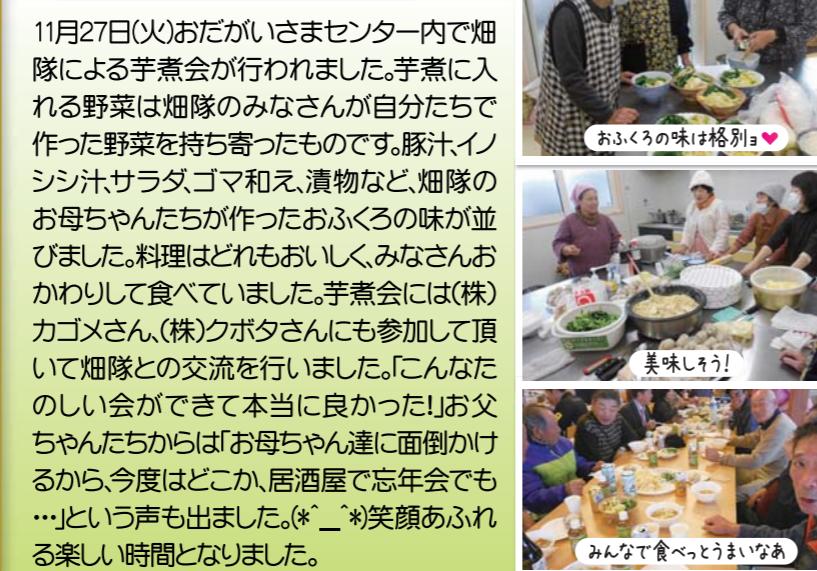
- ① **12月24日(月) 夜7時～夜9時**
おだがいさまラジオランド・クリスマスイブスペシャル
出演者 おだがいさまセンタースタッフ
- ② **12月25日(火) 夜7時～夜9時**
おだがいさまラジオランド・クリスマススペシャル
出演者 古賀徹&平岡知子
- ③ **1月1日(火) 午後4時～午後6時**
おだがいさまFM・お正月特別番組
出演者 古賀徹&平岡知子

おだがいさま工房便り



12月5日(水)の研修で、叢雲絞り(むらくもしぶり)と呼ばれる手法の絞りを行いました。叢雲絞りとは、筒状に縫った布を棒に通して、しわやひだをつけて上からきつく締め付け、棒ごと染液に浸す絞り染めの技法のことをいいます。雲の形に染め上がることから雲形絞りや円柱絞り、棒村雲絞りとも呼ばれています。美しく染め上がった布を広げた時には「おおー!」と歓声が出ました。(笑顔あふれる楽しい時間となりました。

おだがいさまファーム通信



11月27日(火)おだがいさまセンター内で畠隊による芋煮会が行われました。芋煮に入れる野菜は畠隊のみなさんが自分たちで作った野菜を持ち寄ったものです。豚汁、イノシシ汁、サラダ、ゴマ和え、漬物など、畠隊のお母ちゃんたちが作ったおふくろの味が並びました。料理はどれもおいしく、みんなおかわりして食べていました。芋煮会には(株)カゴメさん、(株)クボタさんにも参加して頂いて畠隊との交流を行いました。「こんなにいい会ができる本当に良かった!」お父ちゃんたちからは「お母ちゃん達に面倒かかるから、今度はどこか、居酒屋で忘年会でも…」という声も出ました。(笑顔あふれる楽しい時間となりました。

ふるさと大交流会(栃木)

11月25日(日)栃木県宇都宮市にあるパルティとちぎ男女共同参画センターでふるさと大交流会が開催されました。この大交流会は、とちぎ暮らし応援会が主催で栃木県に避難している方々など、約400名の方が参加しました。

ステージ発表では、富岡町相馬盆踊りやじやんがら念佛踊り、フラダンスなど懐かしいふるさとの踊りが行われ、相双地区の方々も餅つきや、芋煮、味噌田楽のふるまいを行いました。参加者の中には久しぶりに再会する方もいて楽しい時間となりました。



富岡町民による太鼓にあわせて相馬盆踊り

東日本被災地への応援ソング贈呈式



12月11日(火)おだがいさまセンターに、JA紀州中央女性会会長とJA紀州中央代表理事組合長、NPO法人エコキャップ推進協会南東北支部長が、和歌山からおいでになり、避難生活をしている皆様に元気と笑顔を届けられれば…との想いをこめて、心の支援として「ビデオレター」「ガーベラ=花言葉“希望”」「みかん」を贈呈してくださいました。ビデオレターは、「がんばろう!! 日本!! 明日輝くために」という応援ソングとともに、学校法人本願寺学園御坊幼稚園園児の皆さんや聖福寺住職関守研悟さんのメッセージも入り、DVDの画面には富岡町の懐かしい風景や花の映像があり、集まった30名ほどの住民は、うれしさと懐かしさで涙を流す姿が見られました。受贈者を代表して、富田仮設自治会長遠藤武さんが御礼の挨拶を述べました。この応援ソングとメッセージの入ったDVDは、各仮設やサロンにもお届けします。ありがとうございました。

第5回生涯学習講座 書道教室 「今年一年を漢字一字で表そう」



12月9日(日)10時から、おだがいさまセンターで第5回の生涯学習講座が開かれました。講師は新国恭司(雅号:雅堂)先生。先生は昨年まで富岡高校の教頭をしていましたが、3月12日には生徒と共に川内に、さらに保護者との連絡を取りながら郡山市内の郡山北工業高校に避難しました。生徒全員が親元に無事帰るまで、職員の安否も確認しながら東奔西走され、現在は須賀川高校の教頭として勤務されています。富岡町の作品展などにも書の大作を出品していましたが、今回は懐かしい富岡の町民との再会も果たしながら、書の講師を引き受けくださいました。

参加者は16名でしたが、一人一人、墨、紙(半紙と葉書)、筆(大小)、押印用の石、作品を入れる額などをセットして準備してくださり、参加者は「中学校以来だわ。」「小学校を思い出す。」と日々に話ながらセットを開いていました。今年一年を表す漢字は「友」「帰」「空」「愛」「前」など、現在の生活への思いが感じられました。

小さな石柱に頭文字などを刻み押印を造り、朱肉をつけて押すと、もう立派な書家になった気分です。一人一人額に入れて記念写真を撮り、充実した書道教室は終了しました。



津軽三味線

12月5日(水) 南一丁目仮設「あさかの杜ゆふね」において、津軽三味線の演奏会が開催されました。今回、南一丁目にお住まいの遠藤安雄さんの知人竹村利幸さんの紹介で、岩手県零石町から佐々木重吉さんがおいでになりました。演奏してくださいました。曲の合間のおしゃべりの中で、「演奏していたら、大きな魚が飛び跳ねるイメージが浮かんだ。皆さんの、表情が生き生きとしているの、きっとこれからは、たくさんいいことがありますよ。」とお話ししてくださいました。迫力のある演奏と、佐々木さんの親しみある方言の語り口調に、聞いている皆さんには時間を忘れて聞き入っていました。



新しいスタッフ紹介

12月からおだがいさまセンターで働くことになりました鈴木です。

富岡町の皆さんとたくさんふれあっていきたいです。出身は川内村ですので、富岡町についていろいろ教えて下さい。どうぞよろしくお願いします。

